

はじめに

私は医療業界で四十年近く働いてきました。現在は、医業経営コンサルタントとして診療所の開業支援、開業後の経営支援という形で、多くの医療機関の医師、スタッフと交流をしています。そのような中で、毎年医療事務を始めとする医療スタッフの採用面接に立ち合い、入職後のフォロー研修や人事評価をさせていただいています。

新規採用のときには必ず応募の動機をお聞きます。詳しくは後段にてお話ししますが、家が近いから、子育てが終わったので……という主婦の理由。せっかく医療事務の資格を取ったので、その資格を利用して働きたい。あなたはどのような理由を面接時に話されますか？

また、医療機関勤務と一言でいってもベッドがある病院かどうか、院内でお薬を出すのかどうか、電子カルテを採用しているか……医療機関の運営環境によって、あなたの業務量はかな

り違ってきます。

単純作業が好きなお方、患者様と交流していきたい方、医療事務員だけでなく、診療補助までやりたい方……あなたはどのような業務までやりたいですか？

せつかく医療事務の資格を取得し、この業界で働こうと決意をしても、自分が想像している業務内容と違ったと早期で退職される方がしばしばいらっしゃいます。医療機関のスタッフは少数精鋭で業務をこなしていますので、十分な研修時間を設けることなく、いきなり現場にて働いていただくことが通常です。それは、規模が大きい病院であっても少人数で運営する診療所においても同じです。自分自身が学ぼうという気持ちで、先輩の動き方をみて現場で実務をしていくしかありません。

今回発行させていただきました《医療事務を目指す方へ 勉強する前に読んで欲しい本》は、皆さまに医療事務の仕事にはどんなことがあり、どのような勤務体制、どのような人間関係の

職場か？ 患者様とはどのように関わるのか？……など、私が訪問させていただいた二百軒以上の医療機関から得た、医療機関の特徴をご案内させていただきます。医療事務の専門学校に入学するには、学費が年間百万円ほどかかります。通学による医療事務講座の受講にも十万円ほどかかります。せつかく費用をかけて勉強して資格を取得しても、勤務する医療機関の選択が間違っていた。私には医療事務自体が合わなかったということでは、無駄な費用と時間を費やすこととなります。そのような不幸がおこらないように、医療事務の仕事を事前に理解し、あなたに合った医療機関はどのような医療機関なのかの羅針盤になればと思います、この本を発行いたしました。

医療事務入門のようなテキストは、世間にたくさん出まわっていると思います。しかし、医療事務を勉強する前に読む本というのは、恐らくほとんど発行されていないのではと思います。この本が、医療事務を職業として選択するかどうかの判断となり、選択した後あなたがより自分にあった職場選択ができる道しるべになればと思います。